

平成28年10月12日

平成28年度 住民サービス部門モデル「道の駅」の認定について

～全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与します～

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1107箇所に広がり、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、その重要性が高まっています。

国土交通省では、「道の駅」の質的向上に向けた取組として、全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”を新たに募集したところです。

今般、“住民サービス”をテーマとして募集し、有識者懇談会における審議・選定を経て、認定対象を国土交通省として全国で6駅決定し、四国では「小豆島オリーブ公園」が認定されましたので、お知らせします。

○ 平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

・ しょうどしま小豆島オリーブ公園（香川県しょうどしま小豆島町）

※認定対象の詳細は別添資料のとおりです。

○ 認定された「道の駅」は、全国の「道の駅」からの視察及び講師の要請に対応するなど、「道の駅」の質的向上に貢献する役割を担います。

国土交通省 四国地方整備局

※本施策は、四国広域地方計画「No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト」に該当します。

【問い合わせ先】

○：主な問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 TEL：087-851-8061（代表）

道路部 地域道路調整官 植松 真二（内線4118）

○道路管理課長 秋山 慎吾（内線4411）

特定テーマ型モデル「道の駅」の概要

- 地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、「道の駅」の重要性が高まっている。
- 全国各地の「道の駅」の模範となって広く周知することで、質的向上に寄与
- 「道の駅」が有する個々の「機能」が異なる点を踏まえ、模範性を高めるために、テーマ（部門）を設定
- 平成28年度は、テーマ（部門）として“住民サービス”を設定



平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

国土交通大臣認定

中山間地域及び漁村地域等において、高齢化社会に対応した地域福祉向上のための取組、地域課題に対応した住民生活支援のための取組、小さな拠点形成を目指した取組など、公共の福祉を増進することを目的とした地域住民へのサービス向上に資する取組を、現在実施し成果をあげているもの

(認定の流れ)



「道の駅」有識者懇談会

委員長：石田 東生 [筑波大学大学院
システム情報工学研究科教授]

楓 千里 [(株)JTBパブリッシング
取締役 法人情報事業部長]

篠原 靖 [跡見学園女子大学
マネジメント学部准教授]

根岸 裕孝 [宮崎大学
地域資源創成学部准教授]

山田 知子 [比治山大学
現代文化学部教授]

(敬称略・五十音順)

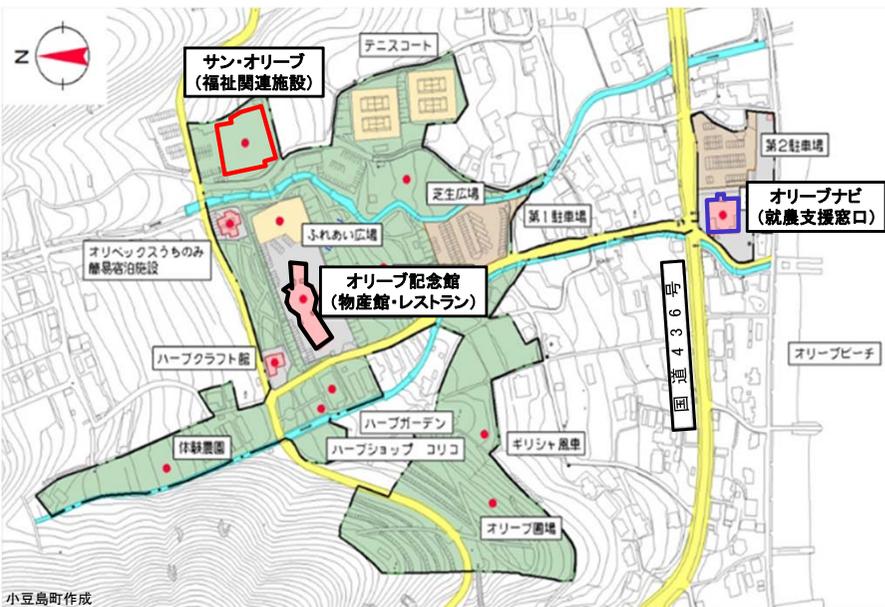
平成 28 年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

都道府県	市町村	設置年度	駅名	主な特長
埼玉県	おがのまち 小鹿野町	H11	りょうかみ やくし 両神温泉薬師の湯	町が「道の駅」を地域福祉の拠点として位置付け、高齢者の生きがい作りの取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
岐阜県	たかやま 高山市	H14	さとしょうかわ 桜の郷荘川	まちづくり協議会への積極的な参画・連携により、住民ニーズを踏まえた健康増進の取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
京都府	なんたん 南丹市	H17	みやま 美山ふれあい広場	住民自治組織が中心となり、行政サービスや福祉サービス等の機能・施設を連携させ、総合的な拠点を形成。
岡山県	にいみ 新見市	H9	こい くぼ 鯉が窪	計画から運営まで全てで住民主体を掲げ、行政窓口や診療所等を集約してワンストップサービスを実現した「小さな拠点」を形成。
香川県	しょうどしまちよう 小豆島町	H8	しょうどしま 小豆島オリーブ公園	「道の駅」を福祉施策の中核と位置付け、オリーブ販売等による収益を福祉関連施設の運営に還元することで住民サービスを実現。
宮崎県	にちなん 日南市	H11	さかたに 酒谷	「道の駅」の収益を自治組織に還元し、住民主体で「道の駅」を地域の自治・交流活動の拠点として育て、「小さな自治」を形成。

- 健康で生きがいのある小豆島の創生に向けて、「道の駅」をその中核を担う拠点として位置付け。
- 福祉関連施設の「サン・オリーブ」では、介護予防教室や健康教室、健康に関する講演会等、地域住民の健康増進に資する様々な取組を実施。
- オリーブを核として「道の駅」全体であげた収益を「サン・オリーブ」の運営に還元することで、これらの健康増進の取組を維持し、継続的な住民サービスを実現。



道の駅
「小豆島オリーブ公園」
香川県小豆島町
人口 約14.9千人
面積 約95.6km²



健康増進に資する取組の実施

◇介護予防教室を開催、介護予防のための体操等を実施。
(月4回程度、10~15人/回が参加)



◇「オリーブを用いた健康長寿の島づくり」等、健康に関する講演会を開催
(年数回程度、200人程度/回が参加)



◇小豆島健康教室を開催、イスに座ったままできる体操等を実施。
(月3回程度、60人程度/回が参加)



「道の駅」全体の収益を活用した住民サービス維持の仕組み

- ◇「道の駅」では、オリーブを中心とした小豆島の特産品を取り揃え、観光客等への販売を促進。
- ◇「道の駅」内の販売収入等を生きがい中核施設「サン・オリーブ」の運営に活用し、住民サービスを維持。